

令和7年度 明第2東地区意見交換会のテーマについて

（団体名） 南花島第4町会

（件名） 松戸市の行政評価制度について

（具体内容）

松戸市HPの「行政評価」のページでは、「これまで実施してきた方法による行政評価の取り組みについては、平成26年をもって一旦休止し、平成28年度をもって終了している。現在は、総合計画において新たにマネジメントツールとして政策評価の考え方を導入し、その進捗状況を市民の皆さんに明らかにすることによって、政策における説明責任を果たすとともに、行政内部の政策改善を図っているところです。」とある。

松戸市総合計画では「基本目標毎に『数値目標』を、施策毎に『重要業績評価指標（KPI）』を設定している」とし、各施策の担当部署が自己評価を行っている。

松戸市の行政評価が行政諸事業のスクラップアンドビルドにつながっているのか教えてほしい。

また、既存事業のスクラップが松戸市の負担軽減になると同時に、町会・自治会役員の負担軽減にもつながるよう方向性も重視してほしい。

（回答）

- ・ 松戸市では、令和4年度から開始した松戸市総合計画において、新たなマネジメントツールとして政策評価を導入し、数値目標、重要業績評価指標（KPI）について毎年検証を行い、事業の見直しを実施し、翌年度の「重点化事業」の検討などにつなげている。
- ・ 毎年度の決算においても、利用実績などのさまざまな指標が明らかにされ、翌年度以降の政策立案や予算編成に反映されており、重要な役割を担っている。
- ・ 政策の効果検証は、公開で実施している有識者による懇談会で意見を伺い、妥当性・客観性を担保している。
- ・ 政策評価は、従来のPDCAサイクルを効率的かつ効果的に運用する仕組みとして機能すると捉えている。
- ・ こうした取組の活用度を上げ、より効果的に運用していくことが重要であると考えている。
- ・ スクラップアンドビルドについては、AI議事録作成システムを導入したことで、これまで行っていた議事録作成の委託業務を廃止したものがありません。
- ・ 市民サービス向上につながる取組として、松戸市オンライン申請システムを導入したことで、市役所や支所に行かなくても自宅のパソコンやスマートフォンから市・県民税の申請や、様々な松戸市のイベントなどへの申込みができるようになりました。

（回答課）政策推進課